

おばあちゃんから「衣」の知恵袋

～ 洗 濯 ～

- くつ下、食べこぼしなどの汚れを先に部分洗い。
毛玉の付きやすい物、白・黒の物は目の細かいネットへ別々に入れる。
- 干す時は台や膝の上で手アイロンをして整える。タオルなどは振り払って干す。
- 困ったシミ 墨汁・・・ごはんを糊状にして汚れをくるみ、気長にねじり出す。
ソース類・・・少量の住まいの洗剤を歯ブラシにつけ、下にタオルを敷き、トントン叩きながら移動する。
- 汚れを落ちやすくするため衿・袖口など薄く糊付けしておく。

～洋服の適正量は?～

- たくさん持っている则ち着る回数が少ない
→痛まないで、ずっと洋服が残り、もったいない。
- 少ない枚数では、回数多く着るので洋服が痛む。
→流行の物を新しく買える。

例えば夏のTシャツで考えると

A子さん	10枚	7～9月で着ると	9回着る	→あまり痛まない
日子さん	3枚	7～9月で着ると	30回着る	→着倒しました!



自分の適正量って?・・・楽に収納できて、手入れができること。

だ・・・全部出して並べ

わ・・・分けて、要る要らない

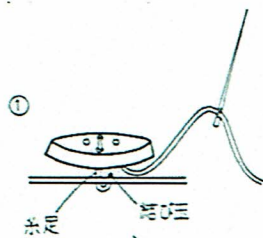
へ・・・減らして処分

し・・・しまう。納める。

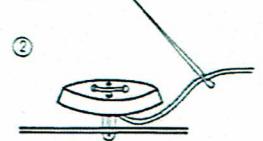


～ボタンがとれたら～

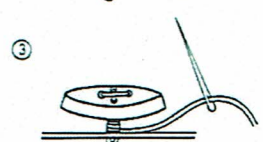
- お気に入りの小箱でミニ針箱を用意しましょう。
中には白・黒のボタン付け糸、5号の刺繍針、針山、糸切りばさみ。
- ボタンのつけ方(婦人之友社 刊行本より)



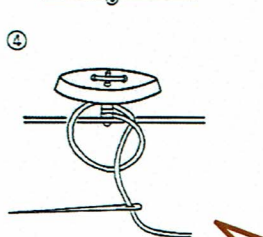
①表から針を入れて布をすくい、ボタンの穴に通す。布の厚み分、ボタンを浮かす。(糸足)



②布に垂直に針を入れて裏に抜き、同じ穴に2～3回ずつ糸を通す。



③糸足に糸を上から下へきっちりと巻く。



④最後に糸足の根元で糸をからめる。布をすくって玉止めし、根元に1～2回通して糸を切る。

④ボタンの形により、足を付けたり、平らに付けるが、裏から見ても横から見ても糸端が出ていないように。